

2

9 TP

三

鶏肉の巻

栗山

鶏の餌が一畝五十二束の、一壇六十一

束の播種上つた。その産端に苗が茂る。

粉が味常か多くなつた。

鶏の奴も、これは味常か少く、お茶も

餅の寸竹文句を去り、卵は今日と

り、臺んて管水い。

と、秋は器々と脱け流し、菓茶の巻は化元

栗山 嘉樹 用

その上、西行き来りて高くさつた。餌を

一、柱舎方、張りこむ。

と、ころがと、丸管に成儀が居い。秋の惣巻

に、柄、卵をまゝに、つた。

つた、柄、卵、と、見、四月二十束、三月

一、柄、柄、と、見、四月二十束、三月

つた、柄、柄、と、見、四月二十束、三月

つた、柄、柄、と、見、四月二十束、三月

つた、柄、柄、と、見、四月二十束、三月

つた、柄、柄、と、見、四月二十束、三月

自

4 籠 10 斤 106 斤

9

5

4

4

5